第41回大会 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインの概要

O本ガイドラインの位置づけ

- 第40回記念大会時(2021)に作成したガイドラインをベースに、感染状況等を踏まえ、第41回ガイドラインを作成。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを踏まえた大会運営のあり方や、大会関係者が遵守すべき事項について策定。 なお、各部署における詳細事項については、各運営マニュアルにて適宜作成、反映。

基本方針

-大会実 準実

(1)大会開催の目安となる基準

- ・本県が緊急事態宣言orまん延防止等重点区域の未適用
- ・県知事が飲食店等に対し休業要請や時短要請を未実施

(2)開催の可否を判断するプロセス

・10月3日に開催する感染症対策委員会の助言を経て、 開催の可否を判断

3

(1)選手及びスタッフの参加基準

・大会前後7日間の体調管理と検温、選手のみPCR検査

(2)海外選手及び関係者の参加基準

・水際対策に従い、入国前検査またはワクチン接種証明 書の提出

4 感染者の発生時

(1)感染者(疑い含む)が発生した場合

・一時的な隔離用設備を使用し、後方支援病院へ

(2)医療体制

- ・新型コロナウイルス感染症対策委員会、後方支援病院
- ・本大会のメディカル体制

(3)連絡系統図及び情報発信の方法

・レース前日及び当日の連絡体制

5 留意事

(1)共通事項

- ・事前7日間の体調管理と検温、基本的な感染防止対策 及び新型コロナ検査の実施
- (2)選手及びコーチ等関係者
- (3)競技役員・スタッフ
- (4)選手及びスタッフの体調管理
- ・事前の体調管理チェック(選手のみ専用アプリ)
- ・その他検温等の実施

感染拡大防止マニュアル

(1)観戦及び応援の取扱い

- ・マスク着用のうえ距離を取ることで応援可能
- (2)関係者全員の健康状態の管理
- ・体調管理チェックシート及び当日の検温
- ・原則マスク着用及び手指消毒の徹底等

(3)場面ごとの感染予防策

- ・「3密」を避け、受付でチェックの上IDカードで識別
- ・全ての大会関係者に対し常時マスク着用を義務づけ
- ・大会前7日間の体調管理チェックシートの作成を義務づ け、各自指定の受付場所に提出
- ・その他隔離用設備を中心に医療スタッフを適切に配置 のうえ感染予防策を講じる

(4)メディアの感染予防策

- ・事前申請制(人数制限は行わない)
- ・原則、事務局の指定する場所での取材のみとする

(1)基本的な対応方針

・各受付におけるチェック及び検温等対応フロー

(2)感染疑い者が発生した場合の行動(各場面)

- ・感染のおそれがないと認められる者は、医療統括責任者 の指示を仰ぎ、レースや業務への復帰を認める
- ・安静後の再検温の結果において引き続き疑いがある者は 後方支援病院(大分中村病院・アルメイダ病院)へ

(3)感染者が確認した場合の対応 (原則、後方支援病院へ)

- ・前日の検査で感染者が発生した場合
- ・大会終了後7日以内の感染報告があった場合
- ・保健所等と連携し、積極的疫学調査の実施

感染者発生時 の対応

感染拡大防止に向けた大会運営